

さくらに木

(題名は校歌より)

さいたま市立宮前小学校

学校教育目標

- ・本気で勉強しよう
- ・心のみがき、体をきたえよう
- ・人のためになろう

在籍児童数677名 学級数25

自分の力で

校長 高田 信太郎

梅雨らしい天気が続いています。登校時は雨が降っていなくても、傘をもって登校する子も多くいます。6月後半からは、水泳の学習が始まりました。昨年度までは、学年を2つに分けての実施でしたが、今年は、久しぶりに学年全体で同じ時間にプールに入ることができました。今のところ、順調に実施できています。

さて、今、「チャットGPT」などの生成AI（人工知能）が話題になっています。とても便利な機能で、様々な場面での活用が期待されています。その一方、課題についても取り上げられています。教育現場での活用もその一つです。文部科学省では、教育現場での取り扱いを示す指針の検討を始めました。教育に与える正と負の影響を見極めることが重要としています。具体的には、読書感想文やレポートなどへの影響です。人工知能を使うと、質問に応じて自然な文章を作成することができます。そうすると、夏休みの課題などに、人工知能を使うことも可能です。このようにICT技術が発展していくと、便利な反面、次から次へと課題が今後出てくることが予想されます。

こうした状況の中で、学校で大切にしたのは、主体的に学ぶ子を育成していくことです。本校では、授業の中で、調べることを、自分で選択させる場面を積極的に取り入れています。自分が興味・関心のあることを、自分で考え判断していきます。そして、調べることや方法が決まると、意欲的に取り組んでいきます。

逆に、子どもたちにとって、やらされている感じが強いと、何かに頼り早く終わらせることだけを考えてしまいがちです。一方で、自分が何をしたいのかをしっかりと持っていれば、自分の力で最後まで取り組みます。どちらが、将来、自分のためになるのかは言うまでもありません。

夏休みまであと3週間となりました。子どもたちは、楽しみにしていることと思います。その一方で、夏休みの宿題についても気になるところです。私は、夏休み前に、いつも子どもたちに、「これをがんばった！と言えるものを一つでも取り組みましょう。」と言っています。自分の興味があることをみつけ、自分の力で最後までやり遂げる子になってほしいと思います。夏休みは、自分のやりたいことにじっくりと取り組むことができます。しかし、うまくいかない時には、別のことに取り組むこともできます。何かを真似するのではなく、たとえ満足いくものでなくても、自分の力でがんばったことであれば、自信をもって自分の作品として提出してほしいと思います。ご家庭でも、お子さまが、自分の力で最後までやり遂げられるよう見守りご支援くださいますようお願いいたします。

